

2016年度末の貯金残高について

2017年5月25日



1 2016年度末の貯金残高について

- 2017年3月末(2016年度末) の「個人貯金等」は前年度末比で1.7兆円増加の176.1兆円。
前年同期は0.2兆円の増加 (A)
- 貯金種類ごとに前年同期と比較すると、
 - ア 振替貯金（総合）は、有利子貯金へのシフトにより減少。(B)
 - イ 定期性貯金については、昨年を若干上回る減少。(C)
 - ウ 通常貯金については、上記アの理由や「払戻し」が減少傾向にあることから、増加幅が拡大。(D)

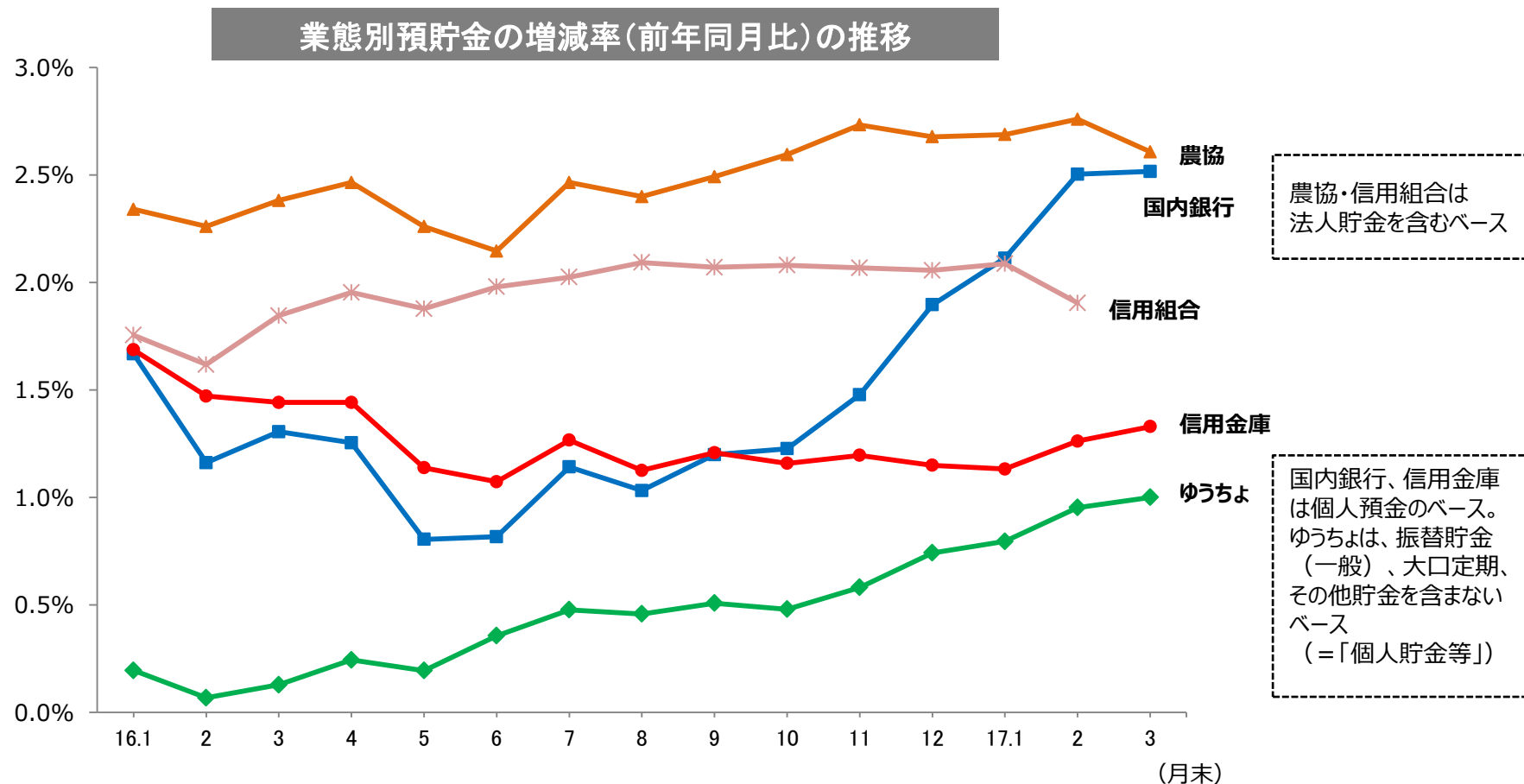
※ 「個人貯金等」とは、貯金残高から、法人等の決済性預金（＝振替貯金（一般））、大口定期、その他貯金を除いたもの

				(単位：兆円)	
	①2016年3月末	②2017年3月末	増減（②－①）	2015年度 同期の増減	2014年度 同期の増減
貯金残高	177.8	179.4	1.5	0.7	0.5
個人貯金等	174.4	176.1	(A) 1.7	0.2	0.4
通常貯金	49.9	54.9	(D) 4.9	0.6	0.0
定額貯金	102.4	101.2	(C) ▲1.1	▲0.4	1.5
定期貯金 大口定期 除く	11.2	10.0	▲1.1	▲0.8	▲1.9
振替貯金（総合）	10.8	9.9	(B) ▲0.8	0.8	0.8
法人貯金等	3.2	3.0	▲0.1	0.5	0.1
振替貯金（一般）	3.0	3.0	0.0	1.2	▲0.0
大口定期	0.2	0.0	▲0.2	▲0.7	0.1
その他	0.1	0.1	▲0.0	▲0.0	▲0.0

※ 貯金残高には未払利子を含まない
※ 自社株取得に伴うグループ会社の貯金等の特殊要因を除く
※ 大口定期は、預入限度額適用除外法人等及びグループ会社による 1,000万円以上の定期貯金への預入

2 業態別の預貯金残高（対前年増減率）について

- ゆうちょ銀行の「個人貯金等」の伸び率は、他業態よりも低い、上昇傾向にある。
- 引き続き、各業態における流動性預貯金、定期性預貯金ごとの内訳やそれぞれの動向等を含め、詳細を分析する必要がある。



- ※ 1 農協・信用組合は法人貯金含む
- ※ 2 国内銀行・信用金庫は個人預金（出所）日本銀行「預金・貸出関連統計」
- ※ 3 ゆうちょは大口定期、一般振替貯金、その他貯金は含まない（＝「個人貯金等」のベース）
- ※ 4 ゆうちょ残高に元加利子は含まない